

平成 25 年度第 1 回学校協議会実施報告

実施日時：平成 25 年 5 月 31 日（金）午後 5 時～ 7 時

実施場所：本校会議室

学校協議会委員出席者（五十音順）

塩見委員、田中委員、田峰委員

事務局出席者

山崎（校長）、繁内（教頭）、中尾（事務長）、藤井（首席）、奥村（教諭・共生推進担当）

常盤井（教諭・進路指導主事）、村山（養護教諭・保健主事）、吉田（教諭、1 年主任）

伊藤（教諭、3 年主任）

次第

校長挨拶

本年度事務局の紹介

本校の現状報告（校長、奥村）

学校経営計画について

府立高等学校再編整備方針について

共生推進教室の現状について

保護者からの意見について

質疑・応答

次回催日程について

内容

<挨拶>

校長より、新入生の様子、共生推進教室の進み方など。

<事務局自己紹介>

当日の事務局出席者による自己紹介

<現状報告>

校長より、学校経営計画について説明。中期目標は昨年度と同じ。

今年度の重点目標

1、学力の向上。

①わかる授業

学力診断テスト、進路マップの活用

指導教諭を中心に授業見学、研究授業を企画する。特に若手教員の研修として活用

生徒による授業評価・・・昨年度は授業ごとにアンケートを実施したが、今年度は年 2 回クラスでまとめて実施する。

②地元中学との連携

生徒の姿が見える中高連携、クラブを基盤とした生徒同士の交流

不本意入学の解消

本校教員による中学校の授業参観

③進学準備プログラム

生徒のやる気を喚起する外部講師、大学見学バスツアーの活用

2、社会で生きるための諸能力の向上

- ①共生推進教室の取組みを生かす
共生生徒3名の部活動参加など
- ②キャリア教育の取組み
コミュニケーションスキルアップ講座の実施
- ③規範意識の育成
服装指導、頭髪指導、遅刻指導など

3、総合選択制の長所を生かした教育活動の展開

- ①エリアの教育内容の充実
エリアガイダンス・・・上級生が下級生に説明
エリア等学習発表会・展示会をつばさコレクションとして全体行事に
- ②大学・地域との連携
地域へ出かける機会アップ

奥村より共生推進教室について説明（パワーポイントを使用）

- 今年度から共生推進教室を設置、男子2名、女子1名が所属
- 学籍は「とりかい高等支援学校」だが、本校で週4日生活する
- 火曜日は「とりかい高等支援学校」に行き、職業教育を受ける
- 本校では一斉授業と3人だけの授業の2タイプの授業を受ける
一斉授業では教員等がサポートにつく
3人だけの授業は国語・数学・英語・ソーシャルスキルトレーニングで週8時間
など、共生推進教室の制度と生徒の様子について説明

校長より「府立学校再編整備方針」について説明

今年3月、府教委が示した方針では、普通科総合選択制の学校19校を総合学科またはコース制設置の普通科に再編することになる。平成26年度から数年かけて実施される。本校はどちらになるか不明だが、学校の意志として総合学科への再編を希望したい。

<保護者からの意見>

今回は出ていないことを報告

<質疑・応答、意見>

○「府立学校再編整備について」

委員：なぜ、再編整備の必要があるのか。

事務局：平成26年度は中学校卒業生が今年度より2500人増え、その後は大幅に減少する。そのため、府立高校の統廃合も含めて再編することになる。

委員：この地域の総合学科はどこか。

事務局：柴島と千里青雲がある。

委員：カリキュラムはどう変わるか。

事務局：エリアよりも自由度が高くなる。系列があるが、系列の授業しか取れないわけではない。本校はもともと多様な選択科目を持っているので、総合学科への移行はやりやすい。本校は7つのエリアがあって基本的には7パターンの時間割、総合学科だと全員がばらばらの時間割となる。系列

はバイキング、エリアは定食。

例えば、福祉系の大学に進学を希望する生徒は、興味・関心に従って保育・福祉エリアを選ぶか、進路実現を目指して学び探究エリアを選ぶかの問題が現状ではある。総合学科ではエリアのしぼりが無いので、自由に科目を選べる。

委員：高一から将来設計をして授業を選択するのはたいへんなこと。どこまでできているのか。

事務局：大学進学希望者100%の学校では文系・理系の統一カリキュラムが向いているが、多様な進路を選ぶ可能性のある生徒がいる学校では、選択も多様にしないと、一つの枠にはおさまりきれない。エリア等選択科目の指導は丁寧に行っている。

委員：大学生なら1年ごとに自分でカリキュラムを決められる。高校ではどうか。

事務局：学校による。

委員：生徒は科目選択の仕組みになじんでいるのか。

事務局：放っておくと定期テストのない科目ばかりを選ぶので、本校ではある程度選択のしぼりを持たせている。

委員：1年生からの進路指導では、どんな業界が活気があるのか、どんな資格があるのか具体的に紹介してほしい。また、途中から修正できるような科目選択ができればいいと思う。

教育は幅広い方がいい。大学で保育を学ぶ学生でも、高校で保育専門で学んできた学生より、色々なことを学んできた学生の方が、保育の分野で幅がでる。高校で専門に学んできましたという変なプライドを持った学生は伸びない。高校では幅広く勉強できるようなカリキュラムにしてほしい。

事務局：1つか2つかコース設置できない普通科の学校は、うちの実態に合わない。そういう意味でも、総合学科の方が望ましいと考えている。

○「共生推進教室所属生徒の就労支援について」

事務局：今年始まった共生推進教室に所属している生徒たちの進路先を本校で考えていかなければならない。支援学校所属生徒の就労について助言をいただきたい。

委員：職安に知り合いがいるが、障がい者の雇用はむずかしい。受入れを可とした例では、支援学校の先生の協力があって、事前に学校で就職後に行う作業と同じスキルトレーニングをしてきていた。理解のある企業では、障がい者を受け入れるための作業を設定している。

最近では、障がい者施設に就職を希望する学生が以前より増えて来た。施設のイメージが変わってきた。

障がいのある人たちが社会の一翼を担うという視点にたてば、障がいのある生徒にやりたい仕事はなにか考えさせるところから授業していくということも必要なのではないか。

<その他>

教科書採択事務校内手順について説明

<次回の日程>

25年10月実施の予定で、日程調整することになる。